

## 第9期地域協議会からの引き継ぎ事項

- 地域協議会と支所（行政）、各種団体、小中学校や保育園も含めより一層の連携を深め、多くの地域の声を拾い上げ、幅広い視点と明確なビジョンをもって地域づくりに取り組んでいく。
- 地域協議会は支所（行政）と地域住民、各団体をつなぐ橋渡し役として、情報収集、意見交換、情報共有、情報発信に努め、地域住民の声を活かしたより良いまちづくりを目指して積極的に取り組んでいく。
- 浜益地域づくり基金について、継続事業についてはより一層の工夫を、新規事業については、既存の発想に捉われず、浜益に必要なより良い何かを発掘し、また、浜益の新しい観光まちづくりを進めるため、区民や各団体との連携を深め、計画的に事業を進めていく。
- 区内産業、福祉施設等の担い手不足の課題解消のため、移住・定住に関する取り組みを、スピード感をもって実施していく必要がある。
- 地域の活性化やこれからのまちづくりの推進のため、具体的な将来像を持って「地域おこし協力隊」、「集落支援員」の導入、活用により客観的な視点を取り入れ、区民や移住者が心豊かに安心して暮らせるまちづくりが必要である。
- 地域協議会委員が、楽しくやりがいを持って様々な意見を気軽に、積極的に発言できる環境と住民の声を届けられる環境であることが望まれる。
- 地域協議会の会議において、様々な手法を取り入れ気軽に発言できる環境づくりが必要である。